

Tidal Enterprise Scheduler : Informatica のアダプタのログの保持数の増加

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、最も古いログ ファイルを上書きする前に、保持される Informatica Adapter のログ ファイルの数を増やす方法について説明します。保たれる Informatica アダプタログのデフォルト 番号は 50 です。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Tidal Enterprise Scheduler バージョン 5.3.1 または それ 以降に、Informatica アダプタに基づいています。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

問題

Informatica アダプタの数は 50 のデフォルトの上で増加する保たれた必要を記録 します。

解決策

保たれるログの数を増加するためにこれらのステップを完了して下さい:

1. Informatica アダプタ接続をディセーブルにするか、またはマスターを停止して下さい。
2. `MaxLogFiles=###` パラメータの追加によって `/TIDAL/Scheduler/master/services/{7640B420-5530-11DE-8812-7B8656D89593}/config/service.props` ファイルを修正して下さい。注 : `service.props` ファイルは Informatica アダプタのコンフィギュレーションの設定が含まれています。このファイルは Informatica アダプタのインストールおよびコンフィギュレーションプロセスの一部として作成する必要があります。

[関連情報](#)

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)